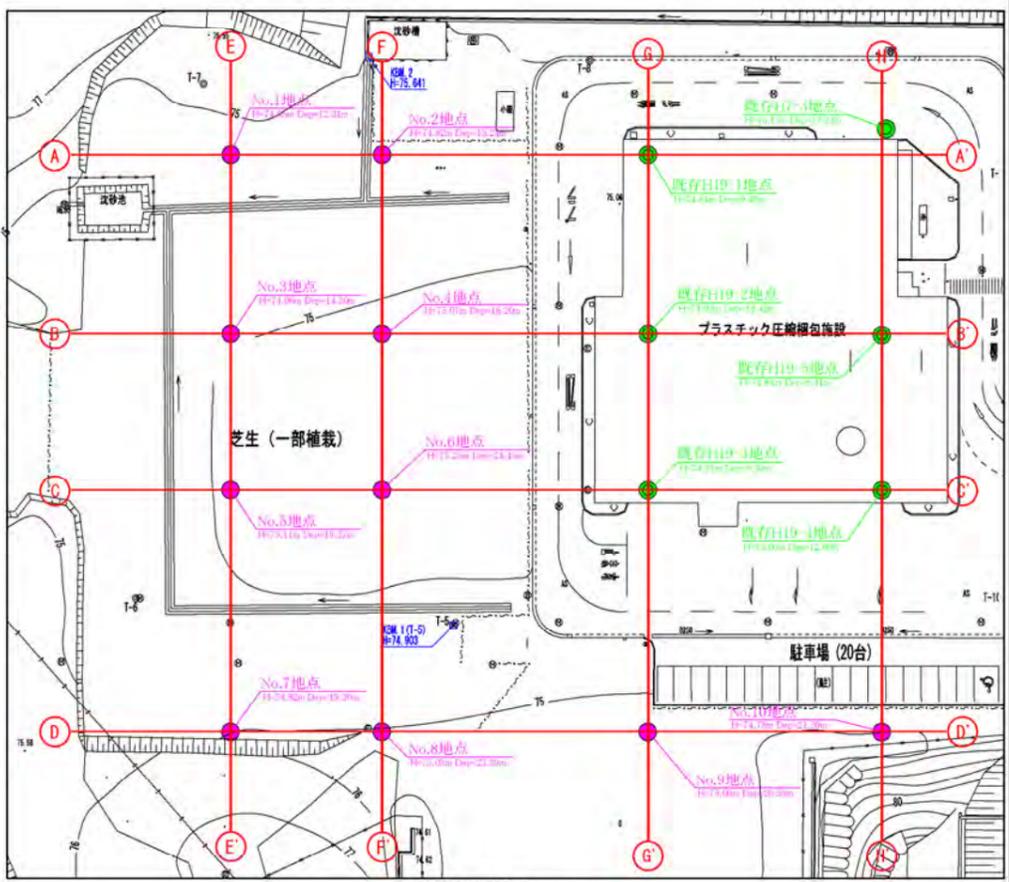
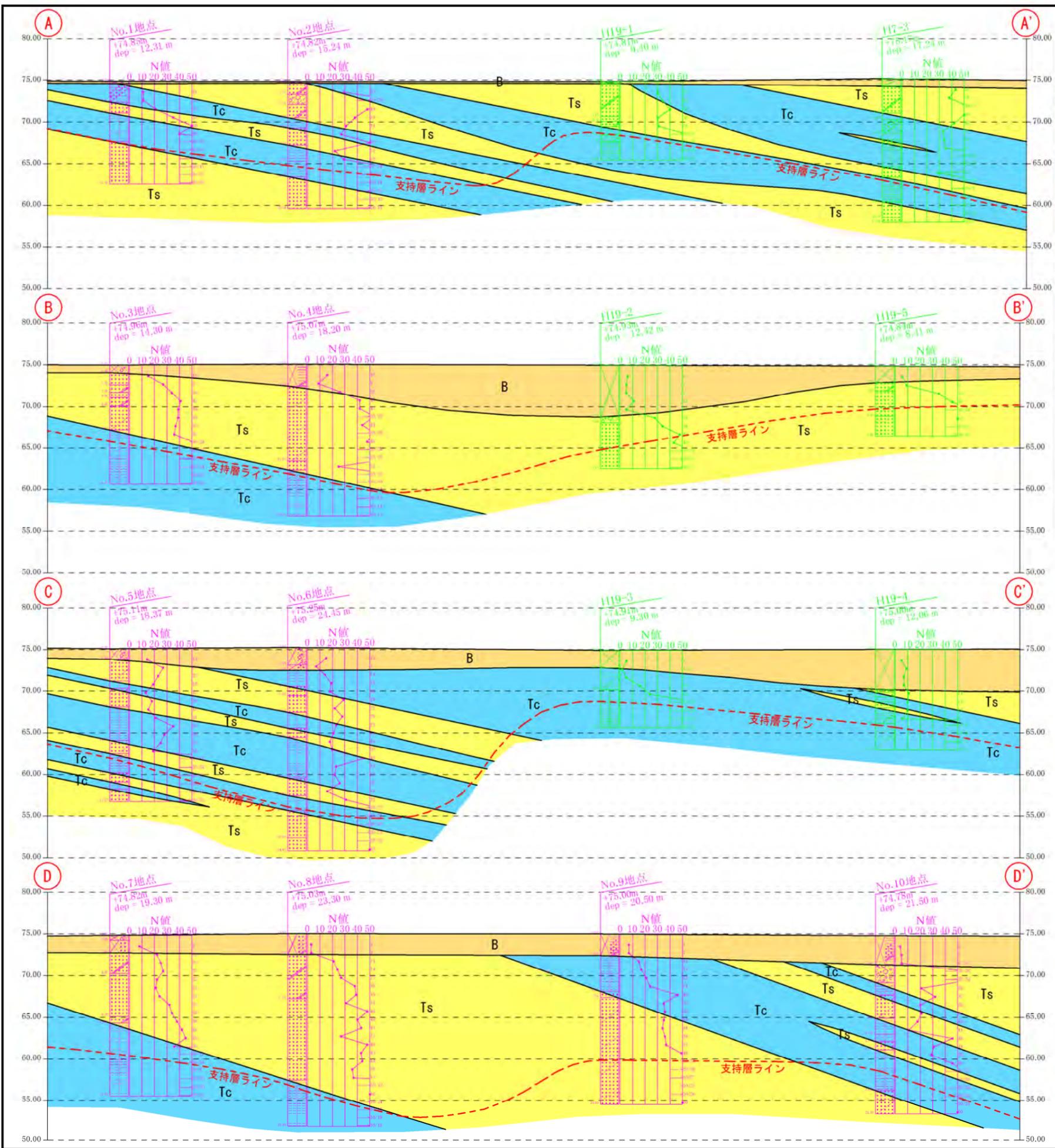


表 6.1 地層層序表

地質時代	地層区分	構成土質	記号	N 値 (平均)	データ数	層 相	
現世	盛土層	砂礫 シルト混じり砂礫 礫混じり粘土 粘土質砂礫 礫混じり砂質シルト 礫混じりシルト質砂 礫混じり粘土質粗砂 礫混じり砂質粘土	B	3~16 (8)	13	<ul style="list-style-type: none"> ・地点により土質変化が激しい ・層厚0.20~3.50m ・No.1地点, No.2地点, No.7地点では0.20~0.50m程度 ・他地点では1.00~3.50m程度 ・色調は黄灰-黄褐-淡黄灰-暗灰-淡黄褐-暗灰褐-暗褐灰-暗黄褐色 	
新生代	第三紀 鮮新世 東海層群 大泉累層	粘性土層	砂質シルト 固結シルト 凝固シルト	Tc	11~50以上 (37)	70	<ul style="list-style-type: none"> ・Ts層と互層状 ・比較的均一なシルト ・所々、細砂混入 ・腐植物点在箇所あり ・シルト-凝固シルト部分は、N値10~30程度 ・固結シルト部は、N値50程度 ・層厚1.0~9.0m程度 ・色調は淡黄灰-淡灰-黄褐-青灰-黄灰-暗黄灰色
		砂質土層	シルト混じり細砂 粗砂 礫混じり粗砂 砂礫 シルト混じり粗砂 細砂 シルト質細砂 粘土混じり砂礫	Ts	13~50以上 (37)	101	<ul style="list-style-type: none"> ・Tc層と互層状 ・シルトを混入する細砂-粗砂主体 ・所々、礫混入(φ2~30mm程度) ・含水は全体に少ない状態 ・層厚1.0~15.0m程度 ・色調は淡黄灰-黄褐-暗黄褐-黄灰-暗黄灰色

※ N 値「50以上」の場合は「50」として平均値を算出した



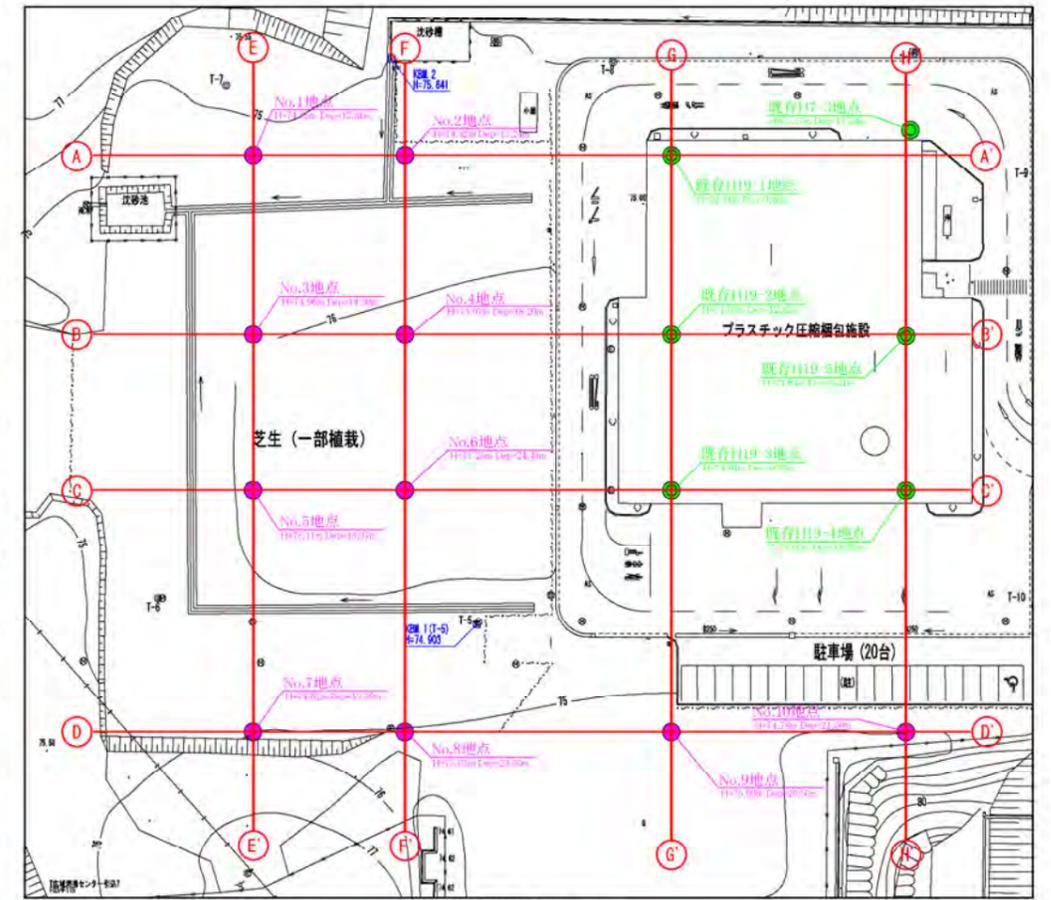
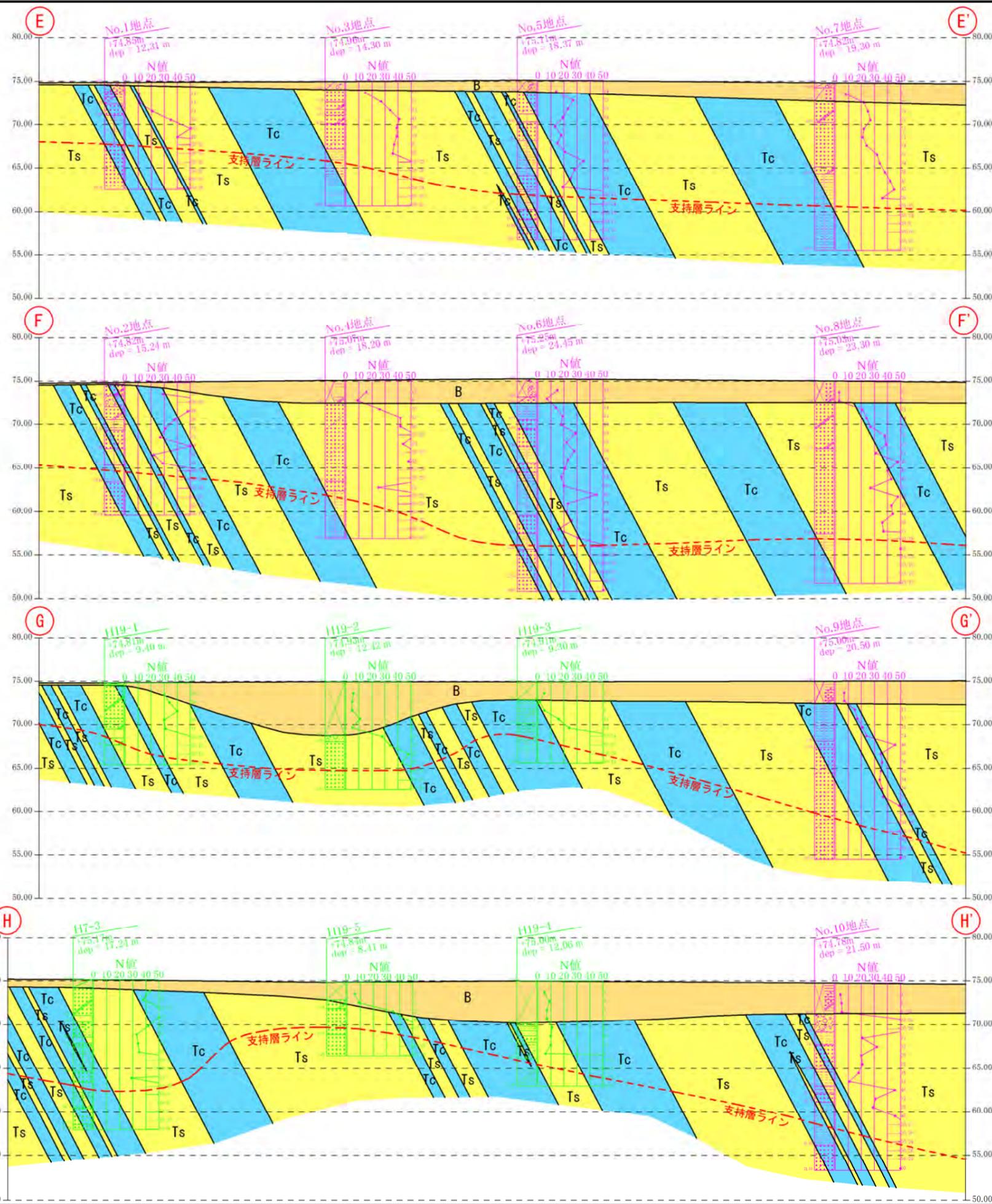
断面位置図 縮尺 1/1,000

地層凡例

地質時代	地層区分	構成土質	記号	N値 (平均)	データ数	層相
現世	盛土層	砂礫 シルト混じり砂礫 礫混じり粘土 粘土質砂礫 礫混じり砂質シルト 礫混じりシルト質砂 礫混じり粘土質粗砂 礫混じり砂質粘土	B	3~16 (8)	13	・地点により土質変化が大きい ・層厚0.20~3.50m ・No.1地点、No.2地点、No.7地点では0.20~0.50m程度 他地点では1.00~3.50m程度 ・色調は黄灰-黄褐-淡黄灰-暗灰-淡黄褐-暗灰褐 ・暗褐灰-暗黄褐色
		砂質シルト 固結シルト 凝固シルト				Tc
新生代	第三紀 鮮新世 東海層群 大泉層	シルト混じり細砂 粗砂 礫混じり粗砂 砂礫 シルト混じり粗砂 粗砂 シルト質細砂 粘土混じり砂礫	Ts	13~50以上 (37)	101	・Tc層と互層状 ・シルトを混入する細砂-粗砂主体 ・所々、礫混入(φ2~30mm程度) ・含水は全体に少ない状態 ・層厚1.0~15.0m程度 ・色調は淡黄灰-黄褐-暗黄褐-黄灰-暗黄灰色

※ N値50以上の場合は「50」として平均値を算出した

図 6.1 地層推定断面図1 (縮尺: 1/500)



断面位置図 縮尺 1/1,000

地層凡例

地質時代	地層区分	構成土質	記号	N値 (平均)	データ数	層相	
現世	盛土層	砂礫 シルト混じり砂礫 礫混じり粘土 粘土質砂礫 礫混じり砂質シルト 礫混じりシルト質砂 礫混じり粘土質粗砂 礫混じり砂質粘土	B	3~16 (8)	13	・地点により土質変化が激しい ・層厚0.20~3.50m ・No.1地点・No.2地点・No.7地点で40.20~0.50m程度 他地点では1.00~3.50m程度 ・色調は黄灰・黄褐・淡黄灰・暗灰・淡黄褐・暗灰褐 ・暗褐灰・暗黄褐色	
		砂質シルト 固結シルト 凝固シルト				Tc	11~50以上 (37)
新 生 代	第三紀 鮮 新 世	東海層群 大泉層	砂質土層	Ts	13~50以上 (37)	101	・Tc層と互層状 ・シルトを混入する細砂-粗砂主体 ・所々、礫混入(2~30mm程度) ・含水は全体に少ない状態 ・層厚1.0~15.0m程度 ・色調は淡黄灰・黄褐・暗黄褐・黄灰・暗黄灰色

※ N値「50以上」の場合は「50」として平均値を算出した

図6.2地層推定断面図2(縮尺: 1/500)

ボーリング柱状図

